

トライ!

日和田小学校 第5学年
学年だより 第18号
令和4年6月17日発行

箏(こと)教室♪

今週、講師の先生をお招きして箏教室がありました。学校には、箏などの和楽器が少ないため、実物に触れながらの学習はとても充実したものになりました。また、演奏するだけでなく、箏の歴史や「『箏』と『琴』のちがい」を知るなど和楽器に対する理解も深めることができました。

最後には「さくら」をみんなで合奏することができました。

この活動の様子に関して、ホームページにも掲載しますので、お時間があればご覧ください。



ぼくは、箏をやって難しかったことは、音が鳴るように、つめを動かしたりするのが難しかったです。ぼくは、三絃もやったのですが、楽器が重くてひくのが難しく、ひくために使うものの持ち方がとても難しかったです。ぼくは箏教室を通して箏に触れ、箏をやってみたいと思いました。

関口 諒(1組)

箏教室では、弾くときに座り方や部分の名前を教わりました。また、箏の楽しさや歴史を知ることができました。和楽器で合奏する貴重な体験になりました。

橋本和奏(2組)

箏を教えてくれる先生が「つめをつけずに人差し指で箏の糸をさわると、指をケガしてしまうから気をつけてね。」という話を聞いて、はじめ箏を弾くことがこわかったです。けれど、つめをつけて弾けば、きれいな音でとても楽しかったし、三絃も弾けて、またやりたいと思いました。

吉成あやめ(1組)

三絃の素材はいろいろな動物の皮や角が使われていることを知って驚きました。音を響かせる空洞の部分は猫や犬の皮が使われていました。三絃は弾いているときに爽快感があって楽しかったです。最後の「祭の太鼓」という曲はテンポが早く五人で合わせるの難しいはずなのに、ぴったりと合っていてすごいなと思いました。ぼくもいつか三絃や箏をうまく弾けるようになりたいと思いました。

齋藤煌太(2組)

家庭学習レポート

これは、雪乃さん(1組)の自主学習ノートです。家庭科で学んだことを、お家でも実践し、写真を貼りながらノートにまとめていました。また、まとめる際に、やってみて気づいたことを書き込むなどの工夫もありました。

自分が興味をもったことを実践し、まとめようとする姿勢がステキですね。

